

事業概況—2014年度業績

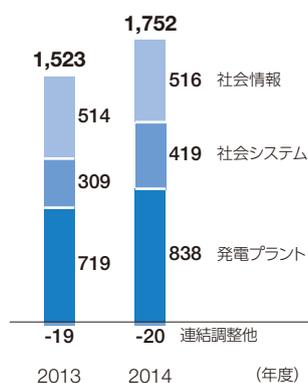
2014年度の当社を取り巻く市場環境は、国内においては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動もみられましたが、企業収益が改善傾向となるなど総じて緩やかな回復基調で推移しました。海外においては、一部に弱さがみられたものの、米国をはじめとする主要先進国が回復基調にあることなどを背景として、海外市場全体は緩やかに回復しつつ推移しました。

売上高は、需要増に加え、為替換算差による増収効果もあり、前期に比べ508億円増加の8,107億円となりました。営業利益は、売上高の増加に加え、コストダウンなどの体質改善効果により、前期に比べ62億円増加の393億円となりました。

発電・社会インフラ

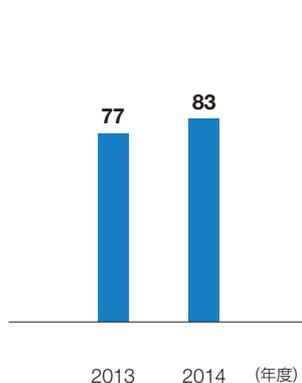
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



発電プラント分野の売上高は、水力発電設備の大口径案件減少があったものの、太陽光発電システムの案件増加により、前期を上回りました。

社会システム分野の売上高は、電力系統などの電力流通分野およびスマートメータを中心に前期を上回りました。

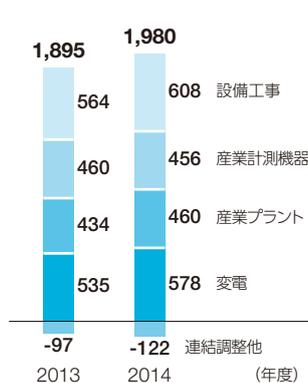
社会情報分野の売上高は、中小口径案件の取り込みを中心に増加し、前期を上回りました。

部門全体の営業利益は、売上高の増加により、前期を上回りました。

産業インフラ

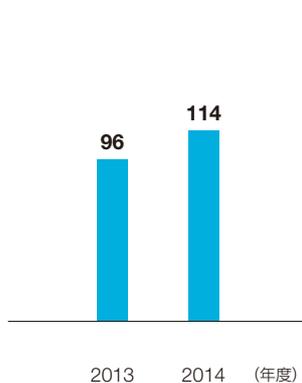
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



変電分野の売上高は、国内大口案件の増加により、前期を上回りました。

産業プラント分野の売上高は、国内の更新需要が堅調に推移したことにより、前期を上回りました。

産業計測機器分野の売上高は、前期と同水準となりました。

設備工事分野の売上高は、空調設備工事および太陽光発電設備工事の案件増加により、前期を上回りました。

部門全体の営業利益は、売上高の増加および原価低減の推進により、前期を上回りました。

(億円)	売上高			営業利益		
	2013年度	2014年度	増減	2013年度	2014年度	増減
発電・社会インフラ	1,523	1,752	229	77	83	6
産業インフラ	1,895	1,980	85	96	114	18
パワーエレクトロニクス	1,747	1,841	94	53	68	15
電子デバイス	1,230	1,372	141	65	81	16
食品流通	1,201	1,191	-9	80	85	5
その他	600	612	12	19	19	-0
消去または全社	-598	-642	-44	-59	-57	2
合計	7,599	8,107	508	331	393	62

主な取り組み

太陽光発電システムの売上増加

当社最大容量となる木曽岬干拓地メガソーラー (49MW) をEPC契約 (設計・エンジニアリング、調達、建設) で一括納入するなど、太陽光発電システムの売上高は、前期を大幅に上回りました。



木曽岬干拓地メガソーラー

火力・地熱発電設備の受注が伸長

国内で電力自由化を背景に電力投資が伸長するなか、(株)神戸製鋼所向け大型ガスタービン・コンバインドサイクル発電設備を受注するなど、火力発電設備の受注が拡大しました。

また、アイスランドをはじめとする海外案件を中心に地熱発電設備の受注を獲得しました。



蒸気タービン

スマートメータの量産開始

スマートメータへの置換需要の拡大に伴い、子会社であるGE富士電機メーター (株)の安曇野工場に量産設備を導入し、国内電力会社向けに納入を開始しました。



スマートメータの量産設備

データセンター設備の受注活動強化

クラウド化により、データセンター向けの省エネ対応や更新需要が増加するなか、受変電設備、空調、無停電電源装置、監視システムなど、必要なすべての機能をワンストップで対応することを強みとして、受注活動を強化しました。



データセンター

変電機器の開発・生産体制の強化

高電圧ガス絶縁開閉装置の新製品開発を強化するため、千葉工場に大電力試験設備を整備しました。海外でも、富士電機マニュファクチャリング(タイランド)社にガス絶縁開閉装置の生産設備投資を行い、製造を開始しました。

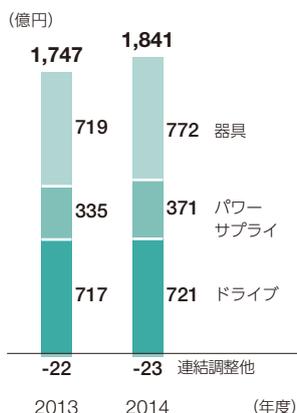
また、富士タスコ社の製品ラインアップの拡充、販売・サービス網の拡大を図り、変電機器の体制を強化しました。



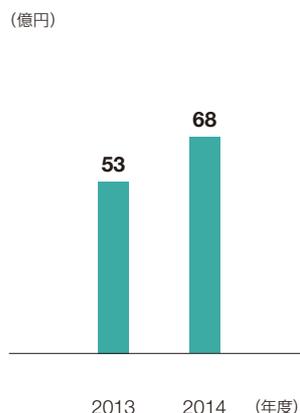
大電力試験設備(千葉工場)

パワー機器

売上高



営業利益



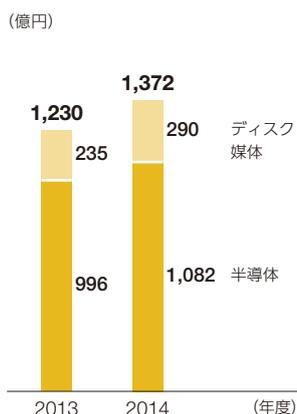
ドライブ分野は、主力のインバータ・サーボの需要増により、売上高・営業利益ともに前期を上回りました。

パワーサプライ分野は、海外向け電源設備の需要増に加え、国内メガソーラー向けパワーコンディショナの需要が堅調に推移したことにより、売上高・営業利益ともに前期を上回りました。

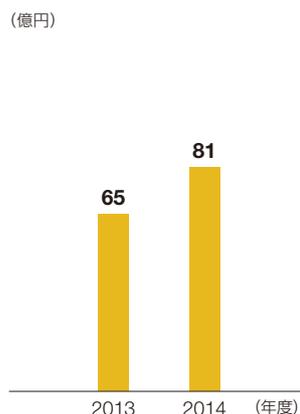
器具分野は、工作機械や太陽光発電関連の需要が堅調に推移したことにより、売上高・営業利益ともに前期を上回りました。

電子デバイス

売上高



営業利益

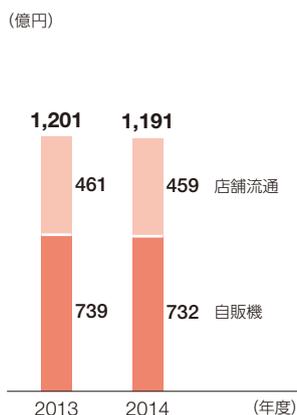


半導体分野は、自動車分野で消費税率引上げに伴う需要の減少があったものの、産業分野においてインバータ・サーボ、産業機械等の需要が堅調に推移したこと、また、情報電源分野においても情報通信機器向けの需要が回復したことにより、売上高は前期を上回りました。営業利益は、売上高の増加および原価低減の推進により、前期を上回りました。

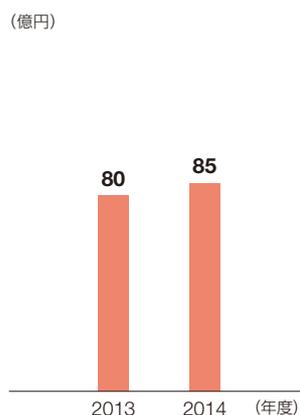
ディスク媒体分野は、売上高は前期を上回りましたが、営業利益は、価格、機種構成差による減益影響等により、前期と同水準となりました。

食品流通

売上高



営業利益



自販機分野の売上高は、中国を中心とした海外市場での拡大があったものの、国内における天候不順や消費税率引上げに伴う自販機需要の減少、コンビニエンスストア向けコーヒーマシンの需要一巡により、前期を下回りました。

店舗流通分野の売上高は、コンビニエンスストア向け冷凍・冷蔵設備や流通分野向け要冷設備、植物工場向け設備・システムの増加があったものの、自動釣銭機の顧客需要減により、前期を下回りました。

部門全体の営業利益は、売上高の減少があったものの、原価低減の推進により、前期を上回りました。

SiCパワー半導体搭載パワエレ機器の発売

当社製次世代パワー半導体SiCを搭載した製品の開発に注力し、SiCを適用した大容量インバータ「FRENIC-VG(スタックタイプ)」、大容量メガソーラー用パワーコンディショナを発売しました。

※P20「研究開発」を参照



大容量インバータ「FRENIC-VG(スタックタイプ)」



大容量メガソーラー用パワーコンディショナ

新製品開発・市場投入の加速

グローバルなニーズに対応した新製品開発・市場投入を強化しています。

国内では、省エネ法に定めるトップランナー規制に適合したプレミアム効率モータを発売するとともに、海外では、アジア、中国、欧米向けに、コンパクトかつ高性能化を実現し、設備の省エネに貢献するインバータ「FRENIC-Ace」を発売しました。



低圧三相プレミアム効率モータ



インバータ「FRENIC-Ace」

山梨製作所 8インチラインの本格稼働

インバータ、NC工作機械などの産業機械や太陽光発電・風力発電などの新エネルギー分野向けに使用される産業用IGBTモジュールの需要が拡大するなか、前工程の生産拠点である山梨製作所の8インチラインが本格稼働を開始しました。



前工程8インチライン

松本工場に技術開発棟を建設

パワー半導体のグローバルマザー拠点である松本工場において、技術開発棟を建設しています。

SiCを含めた次世代パワー半導体や高機能IGBT・車載関連製品などの高付加価値の製品開発を進めるとともに、革新的な生産技術開発を加速・推進していきます。



技術開発棟

中国・アジアで自販機の需要拡大

中国では、飲料メーカーによる自動販売機の導入・展開が加速し、需要が拡大するなか、中国・アジア向けに、飲料から食品・物品まで幅広い品揃えが可能な自動販売機「Twistar」を発売しました。

※P21「研究開発」を参照



中国・アジア向け自動販売機「Twistar」

植物工場に資本参加

2014年4月、大規模イチゴ栽培施設を運営する苦東ファーム(株)に資本参加しました。当社のセンサ・制御技術を駆使した複合環境制御システムにより、年間を通じて一定の品質、1株当たりの収量向上を実現します。植物工場のノウハウの蓄積により、食の安全・安心に貢献する事業拡大に取り組みます。

※P27～28「特集2」を参照



植物工場